

衆議院経済産業委員会ニュース

平成 28.10.28 第 192 回国会第 5 号

10 月 28 日（金）、第 5 回の委員会が開かれました。

1 理事の補欠選任

- ・理事の補欠選任を行いました。
理事 牧原 秀樹君（自民）（理事うえの賢一郎君今 28 日委員辞任につきその補欠）

2 独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構法の一部を改正する法律案（内閣提出第 8 号）

- ・世耕経済産業大臣、高木経済産業副大臣、武井外務大臣政務官、中川経済産業大臣政務官及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
（参考人）独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構理事長 黒木 啓介君
- ・藤野保史君（共産）が討論を行いました。
- ・採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成—自民、民進、公明、維新 反対—共産）
- ・吉川貴盛君外 3 名（自民、民進、公明、維新）から提出された附帯決議案について、北神圭朗君（民進）から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、賛成多数をもってこれを付することに決しました。
（賛成—自民、民進、公明、維新 反対—共産）

（質疑者及び主な質疑内容）

福島 伸享君（民進）

- ・独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構（以下、「JOGMEC」という。）が支援するプロジェクトの採択に際しては、業界の再編による和製メジャー育成を視野に、国営企業の買収や大胆なM&A等の大規模案件を重点的に支援する方針を明確にすべきとの指摘に対する世耕経済産業大臣の認識を伺いたい。
- ・領土問題や安全保障の観点等も考慮した資源外交の立場から、経済的失敗のリスクを負ってでも国益に資する投資が JOGMEC に求められた際に、政府として投資の是非を判断する司令塔機能が必要ではないか、世耕経済産業大臣の見解を伺いたい。

田嶋 要君（民進）

- ・増大する累積損失を踏まえて、平成 16 年の設立以降の JOGMEC の業務実績に対する世耕経済産業大臣の評価を伺いたい。
- ・石油公団時代に業務に資産買収の支援措置を追加した法改正の際、審議会の議論において、委員から資産買収の支援とともに、企業買収の支援の必要性についても言及があった経緯を踏まえると、本改正で初めて JOGMEC の業務に企業買収の支援を追加するのでは時機を逸しているのではないかと、世耕経済産業大臣の見解を伺いたい。

小沢 鋭仁君（維新）

- ・JOGMEC は平成 27 年度に約 540 億円の欠損金を計上しているが、このまま欠損金が累積した場合、どのように対応するつもりなのか、見解を伺いたい。
- ・過去にサハリンの資源開発プロジェクトで環境問題の観点から、日本企業の権益が変更されたことがあったが、どのような経緯及び対応があり、現状はどうなっているのか伺いたい。

鈴木 義 弘君 (民進)

- ・ JOGMEC のリスクマネー供給機能を強化する前に、資源開発の専門人材を育成し技術開発を推進していく必要があると考えるが、世耕経済産業大臣の見解を伺いたい。
- ・ 多額の費用をかけて石油の国家備蓄を行っているのだから、今後は石油価格が高騰した場合に備蓄している石油の利用を柔軟に認めるべきと考えるが、見解を伺いたい。

落 合 貴 之君 (民進)

- ・ 政府における自主開発比率とはどのような定義なのか、また、2030 年における自主開発比率 40% 目標を達成するためにどのくらいの資金が必要と考えているのか、見解を伺いたい。
- ・ 特定国に関して、政府の外交方針と JOGMEC の案件選定に係る経済合理性の判断に不一致が生じた場合、JOGMEC はどのように判断すればよいのか、見解を伺いたい。

真 島 省 三君 (共産)

- ・ エネルギーの安定供給確保の観点からは、自主開発比率を高めるよりも再生可能エネルギーを本格的に導入しエネルギー自給率を高めるべきではないかと考えるが、世耕経済産業大臣の見解を伺いたい。
- ・ JOGMEC の出資割合について、原則として 5 割を上限とするルールが運用において緩和されたが、このことが精度の低い探鉱プロジェクトへの出資を招いたのではないかと考えるが、見解を伺いたい。